

# 第59回 全国保育問題研究集会

## 京都

安心を力に 京から踏みだす どんと一歩!  
～わたしたちの未来は、わたしたちの手で～

つながろう 多様性を認めあい平和の文化を広げるために  
声を聴きあおう 一人ひとりがたいせつにされる社会を創るために  
学びあおう すべての子どもの発達を保障する保育を明らかにするために  
充実させよう 公的保育制度を 子どももおとなも安心して生きていくために

2020年6月5日(金)～7日(日)

5日(金) 京都テルサ

12:00	13:00	14:45	15:00	16:30	16:45	17:30	18:00	19:30
受付	オープニング・基調提案	休憩	記念講演	休憩	歓迎行事	移動	分科会打ち合わせ	

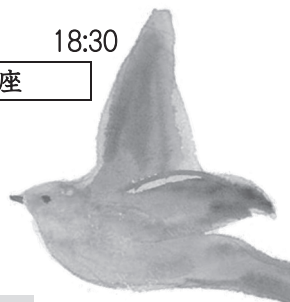
6日(土) 京都府立大学

8:30	9:15	12:00	13:00	16:30	17:00	18:30
受付	分科会	昼食	分科会	移動	特別講座	

7日(日) 京都府立大学

9:15	11:15	11:45	12:45
分科会	移動	閉会集会	

主催:全国保育問題研究協議会 第59回全国保育問題研究集会京都集会実行委員会



## 第59回全国保育問題研究集会 歓迎のことば

全国各地域で、子どもたちの今と未来のしあわせのために日々力を尽くしてくださっている保育関係者のみなさま、今年は、歴史と文化を誇る京都での開催となりました。今回の会場である京都テルサ、京都府立大学は交通アクセスもよく、世界文化遺産である東寺、風光明媚な鴨川(賀茂川)を身近に感じていただくことができます。

新しい世紀を迎えた20年前、西暦2000年にノーベル平和賞受賞者たちが「わたしの平和宣言」を起草しました。私たち一人ひとりの参加によって、「戦争と暴力の文化」を「平和と非暴力の文化」へとみんなで変えていこうというものです。悲しいことに、正義なき暴力の応酬が続き、日本では、親から子どもへの暴力である虐待、職場や学校でのいじめのほか、小学校での子どもの暴力行為が急増している現状があります。「わたしの平和宣言」でよびかけられているように、「人類の未来、とりわけ子どもたちの今日と未来に責任があることを自覚」し、身近な日常生活、家族内から、学校や職場、地域社会、国レベルにいたるまで、1. 差別や偏見をもたずに、一人ひとりのすべての人のいのちと尊厳を大切に、2. いかなる暴力もつかわず許さない、3. 時間と所有物を広い心で分かち合い、仲間はぐれ、不正義や政治的、経済的抑圧を終わらせる、4. 表現の自由を守り、文化のちがいを認め合う。いつも対話を心がけ、相手を拒否せずにわかるまで耳を傾けることを心がける、ことなどを今回の集会テーマに含め、実行していきたいと思えます。

国際的に、早期からの「質の高い」保育の必要性が認識されるようになり、昨年は日本でも幼児教育・保育の「無償化」が始まりました。多様な保育形態のひろがり、幼稚園での2歳児受け入れの増加を受けて、従来の枠組みをこえてお互いに学び合うことが求められています。保育・勤務条件の厳しさから、「本当はこうしたい」ということができないつらさを抱えて悩んでいる人も少なくないと思えます。でも、大丈夫。全国にはたくさん仲間がいます。お互いの声を聴きあい、ホンネを言い合える「安心を力に」、私たち一人ひとりのねがいをみんなで実現していこうという自覚をもって社会にはたらきかけていく。そんな「つながりの輪・和」をこの集いを機に広げていければと思います。気持ちのこもったたくさん実践提案、超魅力的な講演・講座・企画をご用意して、京都の保育関係者一同、みなさまのご参加を心よりお待ちしております！

京都集会実行委員長(京都府立大学)・服部敬子

6月5日(金)  
京都テルサ

開会集会 13:00~14:45

オープニング

歓迎あいさつ…実行委員長 服部 敬子

主催者あいさつ…全国保育問題研究協議会 西川 由紀子

基調提案…全国保育問題研究協議会 基調提案作成委員会

### 記念講演

15:00~16:30

#### 「食と農の歴史から考える子どもの未来」

保育園・幼稚園と積み木を生み出したフリードリヒ・フレーベルにとって、食と農はとても重要であった。また、フレーベルの影響を受けたデューイも、料理を教育の中心に捉えるような学校を提案していた。この講演では、給食や料理など、食や農にまつわるさまざまな子どもの教育の実践や哲学を振り返りつつ、来たるべき保育思想について考えていきたい。

ふじはら たつし  
藤原 辰史さん

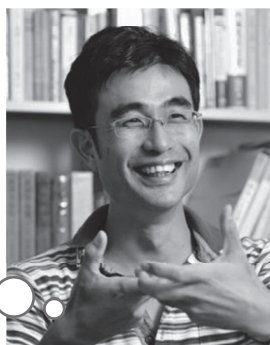
京都大学人文科学研究所准教授。

北海道旭川市生まれ。

島根県横田町出身。(現:奥出雲町)

『ナチスのキッチン』で河合隼雄

学芸賞を受賞(2013年)。



### 歓迎行事

16:45~17:30

#### 『蓮風 RENPU』

和太鼓・津軽三味線という日本の伝統楽器を使い路上パフォーマンスから発足。

2003年 和奏ユニット蓮風を結成。関西を拠点に全国で活躍中。

6月7日(日)  
京都府立大学

閉会集会 11:45~12:45

現地実行委員より

閉会のあいさつ…京都集会実行委員会

特別報告

次回開催地 仙台より



# 参加要項

## ○参加費

(一般)・一次締切	4月30日(木)	8,000円
・最終締切	5月20日(水)	8,500円
・当日扱い		9,000円
(学生)		3,000円

○弁当 (6/6)

1,000円

○宿泊費 (6/4、5、6)………宿泊費の詳細は次ページをごらんください

(注)最終締切日以降のお申込みは、当日扱いとさせていただきます。お早めにお申し込みください。

■お申し込み開始は・2月1日(土)より インターネット及びFAXにて

### ■インターネットでのお申し込み

1)「全国保育問題研究協議会(全国保問研)」を検索 <http://zenhomon.jp>

2)お申し込みは「京都集会申し込みページ」の「名鉄観光」をクリックしてください。

一週間以内に内容確認メールが届きます。お客様控えとして大切に保管してください。

※スマートフォンからお申込の場合でも、返信メールが受取れるよう、ドメイン設定をお願い致します。

■FAXでのお申し込み(一週間以内に返信致します。お客様控えを大切に保管してください。)

FAXでのお申込みご利用の際は、別途お一人様¥300の手数料を頂戴いたします

■ご変更・お取消しについて(トラブル防止の為、お電話による変更・取消は受付いたしておりません。)

お申込の変更・取消はFAXまたはメールにてご連絡ください。なお、取消料は下記の通りです。

参加取消日	参加費取消料	ご返金額
5日前まで (5月30日まで)	500円	取消料・振込料を 除いた残金
前々日まで (6月3日まで)	参加費の 20%	
前々日以降 (6月4日以降)	参加費の 100%	返金いたしません

変更・取消日	宿泊費取消料	弁当取消料
利用日7~2日前まで (午後6時まで)	宿泊費の 20%	無料
利用日の前日まで (午後6時まで)	宿泊費の 30%	弁当代の50%
利用日の当日 (午前中まで)	宿泊費の 50%	弁当代の100%
未連絡	宿泊費の 100%	弁当代の100%

※台風等の災害により開催が危ぶまれる場合は、ホームページでお知らせいたします。随時ご確認ください。なお、やむを得ず中止となった場合は、資料郵送料として1000円を頂戴し、残金は返金いたします。

### 《お申込・お問合せ先》

〒600-8492 京都府京都市下京区四條通新町東入月鉾町62 住友生命京都ビル6階  
名鉄観光サービス株式会社 京都支店  
「第59回全国保育問題研究集会」担当 中山・西村  
電話:075-255-2211 / FAX:075-255-8511  
E-mail:zenhomon@mwt.co.jp

【営業時間:平日 9:30~17:30(土日・祝日は定休日となります。)]

### 【宿泊ホテルのご案内】 ※募集型企画旅行

■2020年6月4日(木)、5日(金)、6日(土)の3日間をご用意いたしております。

■下記料金は1泊朝食付(サービス料・税込)の料金です。

■ご希望ホテルは申込先着順にて配宿させていただきます。

■最少催行人員/1名様(添乗員は同行いたしません)

■両会場にアクセスしやすい地下鉄烏丸線沿線にて確保しております。マップをご覧ください。

# 分科会

6月6日(土) 9:15~16:30

7日(日) 9:15~11:15

## 1 乳児保育

「乳児保育」分科会では、乳児を一人の権利主体ととらえ、「子どもの最善の利益」の観点から乳児保育のよりよいあり方を考えてきました。年齢別クラス担当基準をはじめ、乳児の生活と発達を豊かに保障する保育内容・方法、環境構成などを具体的な実践を通して検討していきます。現在、子ども・子育て支援制度の下で、市場原理の導入や規制緩和による「保育の質」の低下が進行しています。改定保育指針では、保育の連続性から、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」が乳幼児期にも影響してくる可能性が考えられます。制度や指針の問題点や矛盾点を解消するためにも、実践を踏まえた幅広く実り豊かな討論を展開していきましょう。

**運営委員** 浅川淳司(石川)・遠田えり(北埼玉)・亀谷和史(愛知)・小林美花(北海道)・佐々木洋子(東京)・津嘉山由美子(沖縄)・友廣万貴子(岡山)・中川伸子(広島)・西林正美(兵庫)・沼田史(福岡)・布施佐代子(愛知)・松田千都(京都)

## 2 集団づくり

いま、人権と民主主義が問われています。子どもたちを民主的な主権者として人間らしく育てていくために、子どもたちの要求を掘り起こし、豊かな集団生活を保障していきたいと思います。自治的、民主的集団をめざし、子どもたちの現実や集団の現状をふまえて、実践の道筋と手だてをどう考えたらよいか、地域や家庭をも視野に含めた実践をどうつくりだすのか、また保育者集団のあり方など、実践をもとに深めていきましょう。

**運営委員** 大元千種(佐賀)・光本弥生(広島)・鈴木牧夫(東京)・丹野広子(仙台)・徳留由貴(兵庫)・中島常安(北海道)・中洲良子(大阪)・長瀬美子(大阪)・服部敬子(京都)・林若子(南埼玉)・古庄範子(熊本)・吉田真理子(三重)・脇信明(長崎)・渡邊眞依子(愛知)

## 3 あそび

子ども時代が豊かなあそびに満ちていることの重要性は誰も否定できません。子どもにとってあそびの何が大切なのか。なぜ人はあそぶのか。学びとのちがいはなにか。これまで蓄積されてきたあそびの実践報告も踏まえ、子どもがあそびの中でどのような自分を育てていくのか、仲間とどのように育ちあうのか、そのために保育者はどのようにあそびを組織し、発展させていったらよいか、丁寧に検討していくことが求められています。栽培や飼育活動も含め、全国各地で展開されている、子どもたちが輝くたくさんの楽しいあそびの実践を交流し、保育者の手立てのあり方を話し合っていきたいと思います。

**運営委員** 岡村由紀子(静岡)・木都老克彦(神奈川)・塩崎美穂(愛知)・竹内圭(京都)・田中浩司(東京)・仲村健一(沖縄)・古林ゆり(福岡)・松元泰樹(鹿児島)・三浦和恵(仙台)・宮城千鶴(大阪)

## 4-a 身体づくり 運動

この分科会は、保育実践における「運動」のあり方について考えるところです。「運動」はからだを育てることはもちろん、保育者、仲間との関係、こころを育てていきますが、単に「運動」すればよいというものではありません。今なぜ、その「運動」なのか、その教材を通して何を教えるのか、子どもの運動要求をどのように掘り起こし、組織化するのかなど、乳幼児期の発達に即して、「運動」の目的、内容、方法等を丁寧に考える必要があります。今日、便利な生活が進行するなかで「運動」する機会そのものが奪われつつあり、乳児期からより意識的な身体づくりの実践が求められています。各園がおかれている保育環境、保育条件のなかでの工夫はもちろん、子どもの最善の利益を保障するという視点に立って、豊かな身体づくりを実践するために必要な保育環境の基準についても考えていきたいと思っています。

**運営委員** 上月智晴(京都)・佐々木雄大(東京)・塩田桃子(大阪)・千葉直紀(信州)・永井三千代(北埼玉)・福井英二(福岡)・山口千恵子(兵庫)・横井喜彦(愛知)

## 4-b 身体づくり 食

「食」は命を守り維持し、成長を保障する基本です。健康な身体は発達の基礎です。子どもたちや保護者の現状を知り、健康な子どもを育てるために何が実践を通して語り合ひましょう。昨年までの集会から続いて給食費の実費徴収、給食のセンター化・委託化、食材の安全、食を通じての子どもたちのこころの育ち、情報過多・自己責任の社会構造の中で評価にさらされている子どもや保護者とのかかわり、食経験の格差、食育活動や食文化などについて語り、学びましょう。

**運営委員** 安部貴洋(仙台)・加藤雅美(愛知)・小西律子(兵庫)・芹澤早由里(滋賀)・三上かおる(大阪)・宮田隆子(京都)

## 5-a 認識と表現 文学

これまで提案され、話し合ってきた実践は、絵本の読み聞かせ・お話づくり・劇あそび・劇づくり・紙芝居などの活動、教材としての絵本の分析、父母・地域とかかわる園文庫の取り組みなど、多岐にわたっています。多様な実践に迫る共通の視点は、文学と出会うことによって認識を深め、表現し、その中で子どもたちの生活がよりよいものになり、集団の質が高まることです。文学の実践の可能性を追求していきましょう。

**運営委員** 小川絢子(愛知)・佐藤智恵美(北海道)・田代康子(東京)・徳永満理(兵庫)・西川由紀子(京都)・山崎由紀子(大阪)

## 5-b 認識と表現 美術

子どもの絵のとらえ方や見方、指導のあり方について古くから保問研の中にも多様な考え方や実践があります。毎年の分科会では、こうした積み重ねを丁寧に認識し合うと同時に、様々な実践の違う点、結論を急がずじっくり実践の事実を丁寧に話し合う中で相互理解を深めていけたらと思います。そこから見えてくるものを大切にしたいと思っています。

**運営委員** 伊藤正雄(東京)・高倉華代(福岡)・田中義和(愛知)・平沼博将(京都)・本田美絵(大阪)・山田眞世(広島)

## 5-c 認識と表現 音楽

音楽分科会は、子どもたちの生活を語り、子どもたちの歌声等を聴きあい、「音楽が保育園の暮らしの様々なこととつながり子どもたちを育てている事実」を深め合ってきています。保育の中の音楽は多様にあります。これまでの分科会の中では、『わらべ歌』『創作曲』『あそびうた』『キーボード』『太鼓』『歌曲』『劇ごっこ』『リズム表現』などが提案されてきました。子どもたちを夢中にさせるその教材の魅力を大事にし、選んだ音楽の何が(どこが)子どもたちを育てたのかを探り続けています。分科会では、子どもの描いた絵、制作物、絵本などの展示、あそびや歌の様子のDVDなどで、提案の内容を深めています。

**運営委員** 安藤正彦(京都)・坂手佳子(大阪)・高橋弘子(群馬)・高橋陽子(北埼玉)・藤波陽子(栃木)・山並道枝(熊本)

## 5-d 認識と表現 科学

原発事故処理の見通しが立たない中、地震国であるにも関わらず、原発が再稼働されています。このような状況下で、科学者の目を持って生きることは、ますます重要になっていると言えるでしょう。子どもたち一人ひとりが、良識ある科学者としての目を持った市民として将来的に育っていくには、どうしたらよいのでしょうか。乳幼児期にふさわしい科学的なものを見方・考え方は、いったいどのようなものなのでしょうか。それを幼い子どもの中に育てていくためには、保育者として何を大切に、どのような実践を展開していけばよいのか、実践を基に考え、議論を深め合ひましょう。

**運営委員** 清原みさ子(愛知)・滝口圭子(石川)・富田昌平(三重)・深井いし子(京都)



## 6 保育計画

保育計画作成は、保育全般に関わり、なおかつ基底となる作業といえるでしょう。保育実践の根底にある子ども像、保育計画を目の前の子どもたちの姿と家庭・地域の状況を踏まえて検討し、職員間・保護者も含めて合意形成する必要があります。「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」が施行されました。保育計画づくりは、保育者の専門性を向上させるものであり、なによりも子どもの生活やあそび、発達を豊かにするものであるはずで、本分科会で改めて、「保育計画とは」を深めていきます。

運営委員 荒堀育子(京都)・入江慶太(岡山)・合田史直(愛媛)・永谷孝代(大阪)・渡邊保博(京都)

## 7 保育時間と保育内容

親たちの「働き方改革」が長時間労働を改善できないなか、長くたった保育時間。子どもたちの食事・睡眠—生活リズムは健全に守れているでしょうか。早朝、夕方、夜間の保育は、子どもたちの気持ちの安定や、あそびへの意欲に見合った工夫がなされているでしょうか。この分科会では、子どもたちの24時間の生活を見通し、生活づくりの基礎単位となる保育の「日課」「デイリープログラム」を見直す実践を討論してきました。『子どもの生活と長時間保育—生活のリズムと日課』（新読書社 2019 年刊・保育問題研究シリーズ）はこれまで47回の提案と討論の成果です。あいつづ保育施策の変化のもと、「保育時間」をめぐる新たな問題提起を求めています。

運営委員 河野友香(愛知)・清水民子(京都)・清水玲子(東京)・横井洋子(北海道)

## 8 保育政策と保育運動

「子ども・子育て支援新制度」施行後5年、幼児教育の「無償」化も実施後半年が過ぎ、名ばかりの「改善」施策では子どもの生育環境は改善できず、子どもの貧困や待機児童問題や職員配置基準の引き上げ、子育て保障の地域間格差の広がりなど問題が深刻化するばかりです。この根本にある、市場原理に委ねた保育・子育て制度から子どもや親・保育者の「暮らし」を支える「権利としての保育」を保障する制度への抜本的な転換をどのように行うか、これが本分科会の課題です。提案から参加者の皆さんと課題を共有し、各地の保育や子育て施策の現状や保育要求に応える取り組みに学び、保育の質を高める施策課題と保育運動のあり方を考えます。

運営委員 大宮勇雄(東京)・景山一正(岡山)・杉山隆一(大阪)・武尾正信(京都)・中村強士(愛知)・森山幸朗(島根)・吉葉研司(沖縄)

## 9 障害児保育

今夏に開催されるパラリンピックは、障害に対する理解を深める機会だと言われています。競技者の多様性を認め、個性や能力を発揮し活躍できる公平な機会が与えられるというパラリンピックの理念は、どの子どもも発達し保育に参加することを保障するインクルーシブ保育に通じるものがあります。しかし東京都がその広告ポスターで「障がいはい言訳に過ぎない。負けたら、自分が弱いだけ。」という文句を載せて撤去騒動が起きたように、優れた能力を至上とする風潮はまだに根強くあります。各地の優れた実践について語り合う事で、そうした風潮に負けない、互いに尊重しあう対等な障害児保育の実践に向けて、一緒に考えていきましょう。

運営委員 河合隆平(石川)・杉山弘子(仙台)・田中洋(大分)・田中良三(愛知)・野本千明(滋賀)・浜谷直人(東京)・三山岳(京都)・山中万美(愛媛)

## 10 父母と共につくる保育内容

生きる力を育む生活の場としての保育は、「父母と共に子育てする」ことが不可欠です。しかし、父母の生活状況の変化や大人同士の関係づくりなど難しい課題も多くあります。そんな中でも、毎回、父母・保育者それぞれの立場から、お互いに手をたずさえての想いから出発したさまざまな実践が報告されています。父母と信頼関係をつくる・父母たちの保育参加を広げる・地域に根ざした共同の子育てを進める・保育者の情報共有や学びあいなどが討議されます。

運営委員 小堀智恵子(愛知)・木村裕子(大阪)・細見玲美(京都)

## 11 乳幼児期の平和教育

平和の人間の形成は現代の教育の原点であり、人類的課題といえるものです。乳幼児期から子どもの心の中に平和のとりでを築く平和教育の営みは、平和な将来の社会を保障する重要な条件であり、最も確実な道といえます。平和とは、単に戦争が無い状態だけでなく、貧困、飢餓、虐待、失業、人種・民族・性などの差別の無い、人権が守られている状態を指すものです。保育現場で、生きづらさを抱えた子どもたち・親たちに向き合い日々取り組んでいる、そのことが平和教育につながるものです。愛されているという安心感や自己肯定感を育むことも、仲間と話し合う力を培うことも平和の心を育てる実践といえます。平和教育は決して「敷居が高い」ものではありません。日常の保育を改めて平和教育の視点で捉え直してみることから始めていきましょう。

運営委員 石川秀子(広島)・ウィンフィールドひろみ(沖縄)・黒川久美(鹿児島)・千葉朝子(静岡)・船越美穂(福岡)

## 12 地域に開かれた保育活動

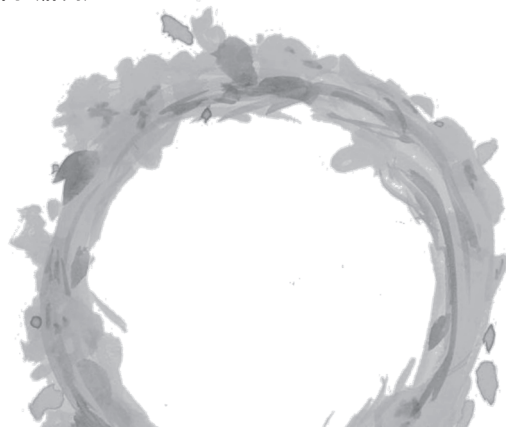
子どもの貧困が広がり、少なくとも7人に1人の子どもが経済的にも文化的にも厳しい家庭環境で育つことを強いられています。子育て家庭が地域で孤立することがないように、保育園や幼稚園はさまざまな子育て支援活動に取り組んできました。本分科会では、保育園や幼稚園の地域活動とともに、市町村の相談援助活動、子育て支援センターなど地域の各種機関・団体との協働の取り組みを交流してきました。生活の困難が広がりを見せる中、地域子育て支援活動は新たな展開を迫られています。各地の実践を交流し、地域に開かれた保育活動の展望を切り開きたいと思います。

運営委員 愛甲明実(鹿児島)・野々上昭弘(大阪)・松浦崇(静岡)・望月彰(愛知)

## 13 特別分科会 異年齢保育

近年、異年齢保育に取り組む園が増え、その形態も小規模の保育園だけでなく年齢別にクラス編成ができるような園でも行われたり、幼児だけでなく乳児を含む異年齢保育も行われています。2016年から異年齢保育の分科会が設置され、異年齢保育を実践している園、関心を寄せている園も含めてたくさんの参加者で議論と交流を行っています。異年齢保育を通して子どもの育ちを語り、そこから見えてきた疑問や課題を交流し、展望を語り合い、共に未来を切り開いていきましょう。

運営委員 川田学(北海道)・佐藤満(滋賀)・谷川芳秋(京都)・森内靖子(静岡)



# 特別講座

6月6日(土)  
17:00~18:30

## A 保育・幼児教育「無償化」と保育の現状

2019年10月より、保育・幼児教育「無償化」が開始されました。しかし、保育の質の低下、格差の拡大、業務負担の増加など、多くの課題が指摘されています。そこで、各地の状況を交流し、公的保育の充実に向けた方策を検討します。

全国保間研保育政策検討委員会

## B 子どもたちの命を守るために

台風19号の河川氾濫・内水氾濫によって、多くの保育施設が被害を受けました。保育施設の浸水被害の実態と対応のあり方について考えます。

報告：尾山台保育園園長：遠山 拓郎

東京・尾山台保育園の浸水被害の状況と、その対応について  
課題提起：震災・学習委員会：神田朋実

支援活動の中で見えてきたもの

全国保間研震災学習委員会

## C 子どものねがい・子どものなやみ

「完成体」の人格に育てあげて、学校へ「接続」しなければならないという思いにさせられている保育者も多いでしょう。しかし、発達に未完であることによってエネルギーを内包できる過程です。「発達とは矛盾をのりこえること」という視点についてお話ししたいと思います。

白石 正久(龍谷大学)

## D 医療的ケアの必要な子どもたちと保育

新生児医療の発達とともに、近年人工呼吸器や胃ろうなどの医療的ケアを受けながら生活している子どもたちが急増しています。“医療的ケア児の母親”という当事者体験と、医療的ケア児が通える小規模保育園設立までの歩みをお話ししたいと思います。

藤井 蒔(NPO法人 i-care kids 京都 代表理事)

## E 子どもの体内時計と生活リズム

睡眠覚醒をはじめとする様々な生体機能には約1日周期のリズム(概日リズム)があり、心身の健康と関連することが知られています。その概日リズムを司る体内時計は、胎児期に形成され生まれてからも発達していきます。生活リズムとの関連も交えてお話しします。

八木田 和弘(京都府立医科大学)

## F 「保育」と「子どもの権利」を考える

「保育」と「子どもの権利」について憲法と子どもの権利条約から考えていきます。子どもたちを取り巻く状況、また保護者、弁護士の視点も交えて、参加者の皆さんと議論を深めたいと思います。

藤井 豊(保育を考える全国弁護士ネットワーク共同代表)

## G 保育と子どもの貧困

2019年、子どもの貧困対策推進法と子どもの貧困対策大綱が5年ぶりに見直されました。保育現場から見えてくる子どもの貧困課題と、この課題に対して保育現場や地域で出来ることが何なのかを考えていきましょう。

幸重 忠孝(NPO法人子どもソーシャルワークセンター)

## H ジェンダー、セクシュアリティを巡る人権問題

時々聞こえる、あんな声、こんな声…。「男なんだから泣くな」「女の子らしくしなさい」…?それ、ほんまかいな…。講座のテーマは、そんな声を疑うこと。セクシュアルマイノリティは、早ければ幼児期から自覚することもあります。「性」って何だろう?人を生きづらくしているものって何だろう?

仲岡 しゅん(うるわ総合法律事務所)

## I 保育とく2歳児

これまで制度的なスキマにあったく2歳児の動きが、急激に変わってきました。保育所はもちろん、幼稚園に通っている子も増えています。その社会的背景や発達の時代的特徴などを考えながら、く2歳児の価値を皆さんと確認したいと思います。

川田 学(北海道大学・札幌保間研)

## J 歌あそび&集団(ゲーム)あそび

定員 80名

あそびは「ワクワクドキドキ」しながら楽しむ、「もう一回しよう!」「もっとやりた〜い!」とどんどん子どもの気持ちがあふらんでいく。キラキラと輝く子どもたちの目が大人を幸せにしてくれます。子どもも大人も楽しめる・・・それがあそびなんだな。

安藤 正彦(保育士・大学非常勤講師)

## K ひとりで喜んでいてもしょうがないのさ、ふたりで喜び感じあってこそ幸せになれるのさ

定員 50名

仙台のあそび部会です。独楽、紙飛行機、竹トンボなど全国どこにでもある素朴なあそびの道具で、みんなで一緒にあそんで幸せになりたいです。独楽は必ず回せます。

仙台保間研

## L 和菓子作り体験(和菓子を作ってみませんか?)

定員 30名

見て楽しく旨く、時にはつつまじげな姿に作り継がれた京菓子。その中でも上生菓子は京菓子の頂点に君臨する華といえます。

指導：京菓匠 甘春堂和菓子職人

料金：一人2000円(和菓子作り体験、和菓子お抹茶付き)持ち物不要

竹本 健一(京菓匠 甘春堂)

## M ちょっとお茶飲み♥

定員 70名

お茶時間はリラックスタイム。

お茶の葉と水分と少々道具があれば、それでOK。

「癒しの葉」それは宇治茶。美味しくお茶を淹れると、みんな笑顔に。

竹村 京子(竹村玉翠園)

\*定員がある講座は先着順となりますので、希望される方は第2希望までご記入ください。

# 第59回全国保育問題研究集会 京都集会 申込書

FAX:075-255-8511

弊社確認印

【名鉄観光サービス(株)京都支店宛】

【新規・変更・追加・取消】

いずれかに○をご記入下さい

フリガナ		参加証・請求書送付先( 自宅 ・ 職場 ) ○印をご記入
代表者名 (保問研名)	( 保問研 )	〒
職場名 学校名等		TEL: FAX:

No.	フリガナ 参加者氏名	分科会 記号	特別講座 記号 ※1		宿泊第1希望			宿泊 第2 希望	弁当 6/6	閉会集会 参加有無 ※2	職場名 学校名	一般 学生	備考
			第1 希望	第2 希望	6/4 (前泊)	6/5	6/6						
例	キョウト ราว 京都 太郎	3	E	D	×	A-1	A-1	B-1	○	○	○○保育 園	一般	No.2と 同室
1													
2													
3													
4													
5													

\* 字は大きくはっきりとご記入ください。

◇ツインを希望される方は、お申込み用紙に同室者を分かる様にご記載ください。

◇上記宿泊プラン以外での館内ご利用分(飲食等個人的なご利用等)は、チェックアウト時に各自ご精算ください。

※1 定員のある特別講座を希望の方は必ず第2希望をご記入ください。

※2 閉会集会会場が構内複数箇所になるため、参加人数を把握したいと思います。参加の有無が確定している方はご記入ください。

**ご記入に際して必ずご一読ください。**

「参加要項」をご参照の上、ご記入ください。

①宿泊希望欄に、ホテル申込記号をご記入ください。第2希望のホテルもご記入ください。

②ツインルーム希望の場合は、備考欄に同室者の番号をご記入ください。

③6/6 の弁当をご希望の方は、弁当欄に○印をご記入下さい。なお京都府立大学周辺でも飲食、購入は可能ですが、混雑が予想されますので事前に申込をされることをお勧めいたします。当日のお申込の対応は出来かねますので、ご了承ください。

④お支払いは、銀行振込みのみとさせていただきます。なお、振込手数料はお客様負担となります。予めご了承ください。

⑤変更・追加・取消などは、こちらの申込用紙に上書きしてFAXしてください。

## 【宿泊のご案内】※募集型企画旅行

■2020年6月4日(木)～6月6日(土)の3日間をご用意しております。料金は、1泊朝食付(サービス料・消費税込)の料金となります。ご希望ホテルは、予約申し込み先着順となります。最少催行人員/1名様(添乗員は同行しません)

### 《お支払い方法》

\* 一次締切日以降、郵送にて請求書・参加証等をお送りいたします。

\* お申し込み内容を確認後、指定日までに銀行にお振込みください (振込手数料はお客様負担)

\* 事前に送付いたします参加証・お弁当引換券・宿泊券等は、集会参加当日には必ずお持ち下さい。

\* 一次締切4月30日(木) \* 最終締切5月20日(水)

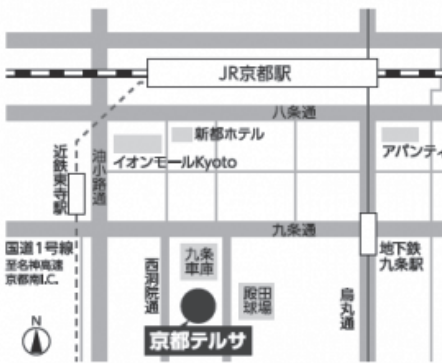
エリア	ホテル名	申込記号	部屋タイプ	宿泊料金 6/4・5 ( )内は 6/6	交通アクセス
九条駅 (京都テルサ)	京都第一ホテル	A-1	シングル	8,250 円(11,000 円)	九条駅 徒歩2分
	グリーンリッチホテル京都駅南	B-1	シングル	10,500 円(13,500 円)	九条駅 徒歩2分
	京都プラザホテル	C-1	シングル	8,800 円(13,800 円)	九条駅 徒歩11分
		C-2	ツイン	6,800 円(9,800 円)	
京都駅	エルイン京都	D-1	シングル	12,500 円(14,500 円)	京都駅 徒歩1分
四条駅	からすま京都ホテル	E-1	シングル	11,800 円(14,300 円)	四条駅 徒歩1分
		E-2	ツイン	9,800 円(12,800 円)	
	ヴィアイン京都四条室町	F-1	シングル	10,500 円(12,500 円)	四条駅 徒歩4分
烏丸御池駅	京都ガーデンホテル	G-1	シングル	8,500 円(11,500 円)	烏丸御池駅徒歩1分
	ホテルギンモンド京都	H-1	シングル	10,500 円(12,500 円)	烏丸御池駅徒歩2分
丸太町駅	京都ガーデンパレス	I-1	シングル	11,500 円(14,000 円)	丸太町駅 徒歩10分
	御所西平安ホテル	J-1	シングル	12,000 円(12,000 円)	今出川駅 徒歩7分
		J-2	ツイン	11,000 円(11,000 円)	

- 上記宿泊プラン以外での館内ご利用分(駐車場、個人的なご利用分等)はチェックアウト時に各自ご精算ください。
- ツインをご希望される方はお申込用紙に同室者をわかるようにご記入ください。
- 上記ホテルが満室の場合は他のホテルをご案内させていただくことがあります。お早めにお申込ください。

## 【会場までのアクセス】

### 【京都テルサ】

京都市南区東九条下殿田町 70 番  
(地下鉄烏丸線九条駅、近鉄東寺駅徒歩 5 分)



### 【京都府立大学】

京都市左京区下鴨半木町 1-5  
(地下鉄烏丸線北山駅徒歩 6 分)

